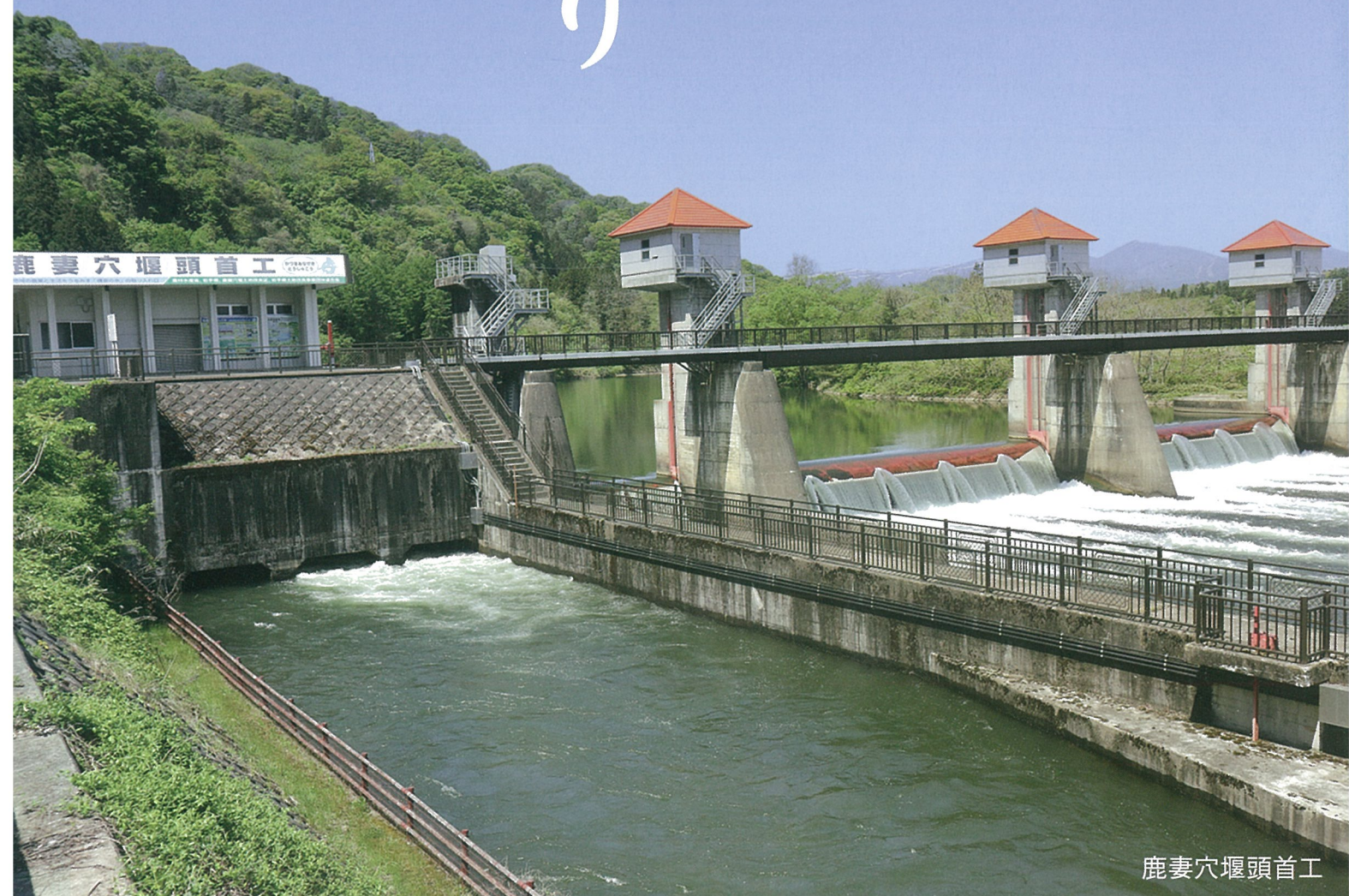


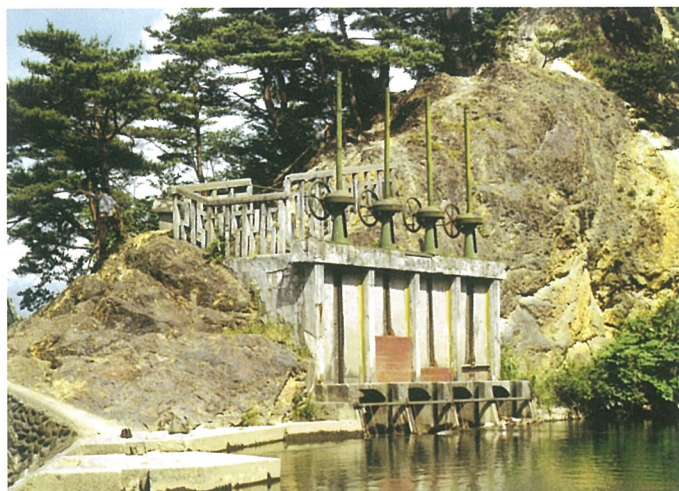
鹿妻穴堰の しおり



鹿妻穴堰の沿革

本区の主幹水路は、南部氏26代信直によって三戸（青森県）より不来方（盛岡市）の地に居を移すべく築城工事が開始された2年後の慶長4年（1599）に藩経営のための水田耕作地域の開発を計って金山師 鎌津田甚六^{かまつ だ じんろく}により現在地、湯坂山の連崖剣長根^{つるぎなが}に長さおよそ6間、巾およそ1間の隧道を掘削させて雫石川の流れを導入するという旧南部藩御用水堰として開鑿されたものである。この穴堰からの取水によって作られる米は、そのことごとくがお蔵米として藩庫入りするという藩内きっての良米としてその名が知られていた。

また、御用水堰に鹿妻の名が冠せられたのは、旧鹿妻村地域に引水することを目的としたことに由来している。



旧鹿妻穴堰頭首工

その後、寛文10年（1670）の初代堰守 吉田甚七^{じんしち}の穴口拡大工事や、鹿妻新堰の開鑿を援助するなど、藩がたびたび新田開発の促進を図ったことなどにより、用水堰もしだいに各地域にその枝葉をのばすにいたった。「南部史要」（明治44年刊）には、「水利の及ぶところ極めて広く、その末流数十脈に分かる、最も大なるものは上鹿妻、中鹿妻、下鹿妻、新鹿妻の四にして岩手志和両郡に亙り、この水路により畑の変じて良田となれるもの三万石を下らずとす。」と記載されている。

下って明治維新となり、幕藩体制の崩壊後は、明治19年（1886）に、鹿妻穴堰水利土功会が開設されて、それまでの御用水堰の維持管理を継承したが、

明治27年（1894）には鹿妻穴堰普通水利組合（第1次）の設立となり、初めてその管理が民間の手に委ねられた。さらに明治43年（1910）には、本区の前身である、鹿妻穴堰普通水利組合（第2次）に組織変更をみることとなり昭和24年（1949）土地改良法の制定にともない、同26年（1951）再度組織変更ののち、現在の鹿妻穴堰土地改良区としての発足をみるにいたった。

この間、大正15年（昭和元年 1926）には、鹿妻穴堰耕地整理組合の設立があり、鹿妻本堰より分水する幹線水路の開鑿並びにこれにともなう耕地整理を施行したが事業完了とともに昭和22年（1947）、本区の前身鹿妻穴堰普通水利組合に合併した。また同24年（1949）には大正9年（1920）に設立されていた新山野耕地整理組合が、昭和46年（1971）には煙山土地改良区が、さらに同50年（1975）には不動土地改良区がそれぞれ吸収の形で本区に合併するにいたっている。



旧鹿妻穴堰頭首工取水口

一方、取水源である雫石川の水源を保護するため、普通水利組合時代の昭和3年から岩手郡雫石町鶯宿地内に山林を購入、水源涵養林の育成を実施している。現在その所有山林は233ヘクタールに及び、スギ、ケヤキなどの美林を形成するまでにいたり、昭和62年緑化推進功勞により内閣総理大臣表彰を受け、平成30年には地域の児童等を対象とした植樹・枝打の教育活動が認められ、全国育樹祭において全国育樹活動コンクール林野庁長官賞を受ける。



水源涵養林

本区存立の基本は、旧南部藩御用水堰以来の用水路の維持管理にあるが、昭和28年（1953）に県営雫石川用排水改良事業が起工され、つづいて同35年（1960）には国営雫石川沿岸農業水利事業の起工があり、往昔からの原始河川の素堀堰堤の管内主要用排水路は拡充、舗装、整備され、頭首工の改築、煙山ダム新設等とあいまって、その施設は近代的設備となった。

その後、長い年月を経た施設の老朽化や、本地区の西部地域で悲願とされてきた用水の安定供給のため、二期国営事業として平成元年（1989）に国営盛岡南部土地改良事業が、平成7年（1995）には国営附帯県営土地改良事業がそれぞれ起工され、用排水路の新設・改修及び西部地域への新たな用水供給に加え、水管理システムの導入により一体的な施設制御と効率的な用水配分を実現させた。

しかしながら、これら整備された水利施設も年月の経過とともに機能低下が著しくなり、管水路の破損や水管理施設の故障等により農業用水の安定供給に支障を来しているうえ、維持管理に多大な費用と労力が費やされるようになってきたことから、平成30年（2018）から新たに三期国営事業となる国営盛岡南部土地改良事業（国営施設応急対策）が起工され、老朽化した施設機能の保全整備と耐震化整備が一体的に行われることとなった。

また、令和元年（2019）からは、老朽化が著しい煙山ダムの改修を行うため国営雫石川沿岸土地改良事業（国営施設応急対策）が起工となり、国営盛岡南部土地改良事業の実施とあわせ、本地区の農業生産性の維持及び農業経営の安定化を図るため現在整備が進められている。

本区区域は、県都盛岡市及び矢巾町、紫波町によって構成されているが、近年、人口の都市周辺への集中傾向が強まるにともなって、市街化区域内農地の宅地等への転用が激増しており、用排水路への汚濁水排出等、都市化により深刻な問題も生じているため、昭和59年から管内関係市町と鹿妻穴堰管内水路等利用調整連絡協議会を設置し対策等を協議しながら、管内の水利機能を適切に維持するよう努めている。



事務所及び用水管理センター

21世紀土地改良区創造運動として、本区では魅力ある豊かな農業農村を目指して、土地改良施設のもつ多面的機能を農家のみならず一般住民にも広く周知している。

また、全国疏水百選に認定されている鹿妻穴堰の頭首工周辺水辺公園をはじめとする複数の土地改良施設で、地域住民・団体等と清掃等の管理を協働活動するアドプト協定の締結について積極的に取り組み、複数の団体が岩手県知事よりアドプト活動モデル賞を受賞するなど幅広く運動を展開させている。

また、水源涵養林のもつ機能や保育管理の重要性を広く周知するため、各種補助事業に取り組み、管内小学校や地域団体を参集し、アオダモやカラマツの植樹、スギの枝打作業の体験学習会を開催している。

なお、平成27年にはこれらの活動が評価され21世紀土地改良区創造運動大賞を受賞している。



管内全景

事業の概要

1. 国営土地改良事業

●かんがい排水事業

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
雫石川	頭首工 1式	4,548,290千円	昭和35年度	昭和48年度
	幹線水路 14,470m			
	鹿妻本堰 18,147m			
	岩崎川 2,115m			
	太田川 5,191m			
	大白沢川 4,018m			
	煙山ダム 1式(464,470㎡)			
盛岡南部	頭首工 1式	21,226,581千円	平成元年度	平成10年度
	鹿妻本堰 3,446m			
	鹿妻本堰用水路 11,827m			
	幹線用水路 13,620m			
	西部用水路 7,009m			
	鹿妻本堰排水路 3,971m			
	西部揚水機場 φ450mm 3台			
	水管理施設 1式			
計		25,774,871千円		

●国営施設応急対策事業

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
盛岡南部	頭首工 1箇所	4,000,000千円	平成30年度	令和7年度完了予定
	揚水機場 1箇所			
	用水路 4.2km			
	水管理施設 1式			
雫石川沿岸	煙山ダム 1式	1,500,000千円	令和元年度	令和6年度完了予定
計		5,500,000千円		

2. 県営土地改良事業

●かんがい排水事業

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
雫石川第一期	用排水路 33,288m	684,753千円	昭和28年度	昭和41年度
雫石川第二期	用排水路 41,308m	1,856,000千円	昭和44年度	昭和56年度
盛岡南部	鹿妻本堰排水路 4,915m	2,846,386千円	平成7年度	平成15年度
	幹線用水路 2,755m			
	西部用水路 1,841m			
	畑かん用水路 1,249m			
	ファームポンド 7カ所			
計		5,387,139千円		

●集落基盤整備事業（地域用水型）

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
鹿妻新堰	用排水路 5,102m	970,096千円	平成22年度	平成29年度
太田堰	用排水路 7,883m	890,654千円	平成23年度	令和元年度
計		1,860,750千円		

●排水対策特別事業費

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
逆堰	5,590m	558,000千円	昭和55年度	昭和61年度
南伝法寺	5,055m	268,687千円	昭和55年度	平成2年度
小白沢川	1,871m	200,000千円	昭和58年度	平成3年度
紫波中央	820m	158,390千円	昭和60年度	平成元年度
飯岡第一北部	650m	29,000千円	昭和62年度	平成3年度
飯岡第一南部	1,799m	228,000千円	昭和62年度	平成3年度
赤沼	1,210m	116,000千円	昭和63年度	平成3年度
徳田堰	2,191m	298,000千円	平成4年度	平成9年度
計	19,186m	1,856,077千円		

●ため池等整備事業

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
田沢	ため池工1式	152,630千円	昭和59年度	平成元年度

●水環境整備事業

地区名	事業量	事業費	事業期間	
			着手	完了
鹿妻	鹿妻工区 親水景観保全施設一式 永井工区	244,000千円	平成9年度	平成13年度

●土地改良総合整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
煙 山 第 一	211ha	798,129千円	昭和61年度	平成4年度
東 部 徳 田	136ha	1,695,000千円	平成5年度	平成11年度
太 田 西 部	120ha	1,068,445千円	平成8年度	平成13年度
計	467ha	3,561,574千円		

●ほ場整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
煙 山 第 一	226ha	550,920千円	昭和44年度	昭和52年度
煙 山 第 三	228ha	1,480,000千円	昭和47年度	昭和55年度
不 動	285ha	2,795,000千円	昭和49年度	昭和59年度
太 田	552ha	3,245,000千円	昭和49年度	昭和60年度
南 伝 法 寺	182ha	2,092,420千円	昭和56年度	平成2年度
紫 波 中 央	207ha	2,056,480千円	昭和60年度	平成5年度
本 宮	143ha	1,267,360千円	昭和61年度	平成7年度
西 郷	193ha	1,958,000千円	昭和62年度	平成6年度
飯 岡 第 一	227ha	2,534,700千円	昭和63年度	平成8年度
矢 巾 太 田	81ha	639,490千円	昭和63年度	平成5年度
徳 田 第 一	201ha	3,488,000千円	平成5年度	平成13年度
計	2,525ha	22,107,370千円		

●経営体育成基盤整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
煙 山 西 部	和田工区 8ha 中央工区 54ha 南煙山工区 21ha	1,358,000千円	平成 9 年度	平成16年度
徳 田 第 二	区画整理工 90ha 暗渠排水工 85ha 環境施設工 1式	1,118,706千円	平成17年度	平成26年度
下 矢 次	区画整理工 32ha 暗渠排水工 32ha	401,971千円	平成20年度	平成26年度
計	205ha	2,878,677千円		

●農業競争力強化農地整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
矢 次	区画整理工 30ha 暗渠排水工 26ha	1,128,000千円	令和 2 年度	令和 7 年度完了予定
広 宮 沢	区画整理工 29ha 暗渠排水工 24.9ha	1,176,000千円	令和 4 年度	令和 9 年度完了予定
計		2,304,000千円		

●畑地帯総合整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
盛 岡 西 部	畑かん 288ha 農道 4,390m 排水 3,590m	2,429,000千円	平成 7 年度	平成18年度

●基幹水利施設ストックマネジメント事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
岩 手 第 1 期	名郷根堰 用水路工 904m	2,100千円	平成21年度	平成21年度
	太田第一 排水路工 603m	14,000千円	平成21年度	平成22年度
	不 動 排水路工 855m	26,000千円	平成20年度	平成22年度
岩 手 第 4 期	煙山第三排水路 排水路工 4,930m	232,446千円	平成26年度	平成30年度
	田沢ため池 補修工 1式	15,358千円	平成27年度	平成28年度
	太田第一 排水路工 861m	55,000千円	平成27年度	令和元年度
岩 手 第 6 期	小鹿妻堰 用水路工 1,220m	178,411千円	平成30年度	令和 4 年度
岩 手 第 7 期	太田川 補修工、水路工 1式	35,400千円	令和 3 年度	令和 5 年度
	煙山第三 排水路工 1,300m	90,000千円	令和 3 年度	令和 7 年度完了予定
	太田第一 排水路工 4,063m	422,000千円	令和 3 年度	令和 7 年度完了予定
計		1,070,715千円		

●農村災害対策整備事業

地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
徳 田 南	北郡山堰排水路工 1,360m	237,548千円	平成26年度	平成30年度

3. 団体営土地改良事業及び維持管理事業

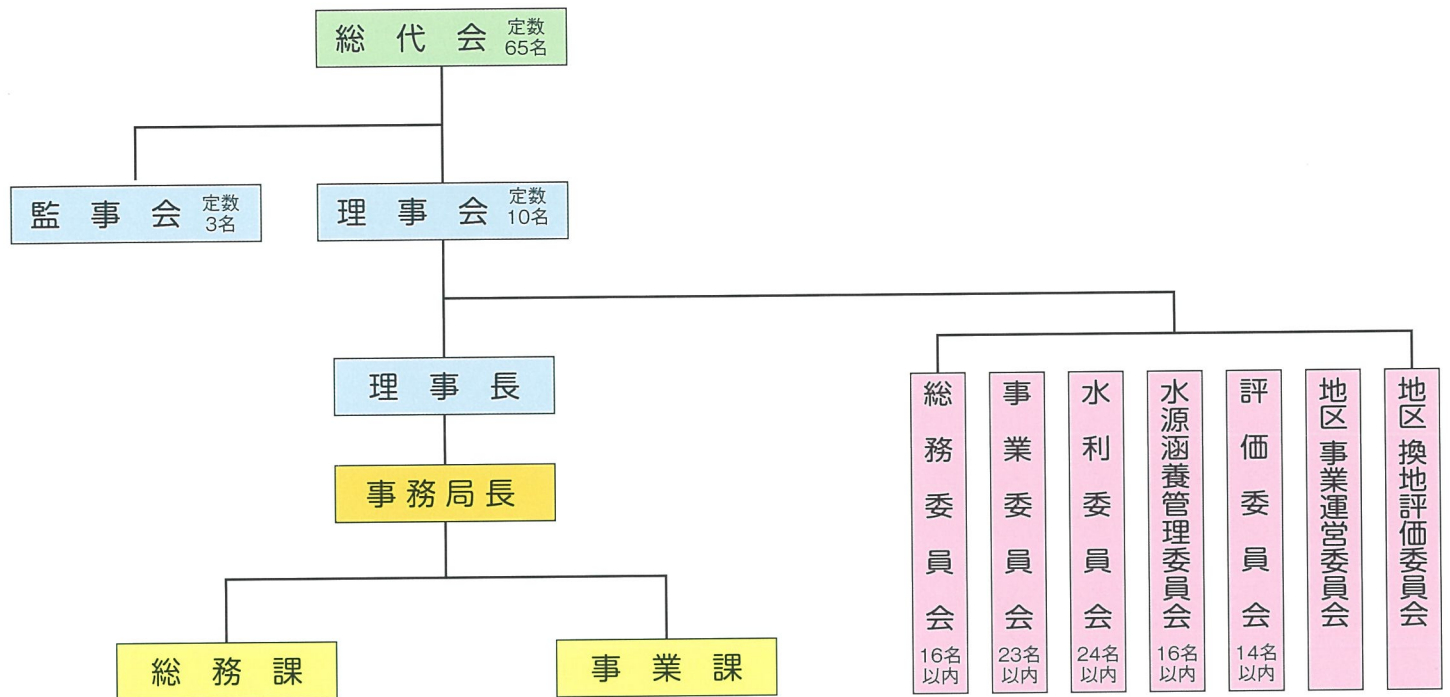
地 区 名	事 業 量	事 業 費	事 業 期 間	
			着 手	完 了
ほ 場 整 備 等	3,871 ha	10,129,684千円	昭和26年度～平成8年度	
維 持 管 理 事 業	維持管理適正化事業等 1式	4,809,655千円	昭和26年度～令和 5 年度（継続）	
国営造成施設管理体整備促進事業	土地改良施設管理強化等 1式	192,024千円	平成12年度～令和 3 年度（完了）	
水利施設管理強化事業	土地改良施設管理強化等 1式	18,454千円	令和 4 年度～令和 5 年度（継続）	
計		15,149,817千円		

4. 造林事業（水源涵養林 A=232.91ha）昭和45年度～令和5年度

業務種別	新 植	補 植	下 刈	枝 打	除間伐	地 拵	測 量	雑 務	計	備 考
事業量	70.37ha	87.12ha	485.78ha	181.49ha	458.95ha	35.94ha	101.31ha	18.69ha	225,022千円	補助金収入 56,800千円
事業費	18,384千円	6,194千円	30,292千円	32,343千円	123,372千円	10,424千円	1,399千円	2,614千円		

本 区 の 紹 介

■本区の組織機構 (令和6年4月1日現在)



総務課	総代会、理事・監事会、定款規約等の制定改廃、出納、賦課徴収、組合員資格得喪、農地転用、農地情報図面、造林事業、電算システム、広報発刊、その他庶務全般に関すること
事業課	国県営土地改良事業の促進、換地事務、水利権、アドプト活動、施設の維持管理、用排水調整、他目的使用、開発行為、多面的機能支払、その他事業推進及び工事施行等に関すること

■本区の区域

市 町	地 区	区 域
盛岡市	太田	繫の内、上太田、中太田、下太田、上鹿妻の内、猪去の内
	本宮	下鹿妻、本宮、向中野、仙北町の内
	飯岡	湯沢の内、羽場の内、上飯岡の内、下飯岡、飯岡新田、永井
	見前	津志田、三本柳、西見前、東見前
矢巾町	煙山	赤林、広宮沢の内、煙山の内、上矢次、下矢次、北矢幅、又兵衛新田、南矢幅
	不動	和味の内、岩清水の内、北伝法寺の内、室岡、太田、白沢
	徳田	高田、藤沢、東徳田、西徳田、間野々、北郡山、土橋、高水寺
紫波町	水分	南伝法寺の内、下松本の内、宮手の内、小屋敷の内
	古館	陣ヶ岡の内、中島、高水寺の内、二日町の内



稲荷場大分水工

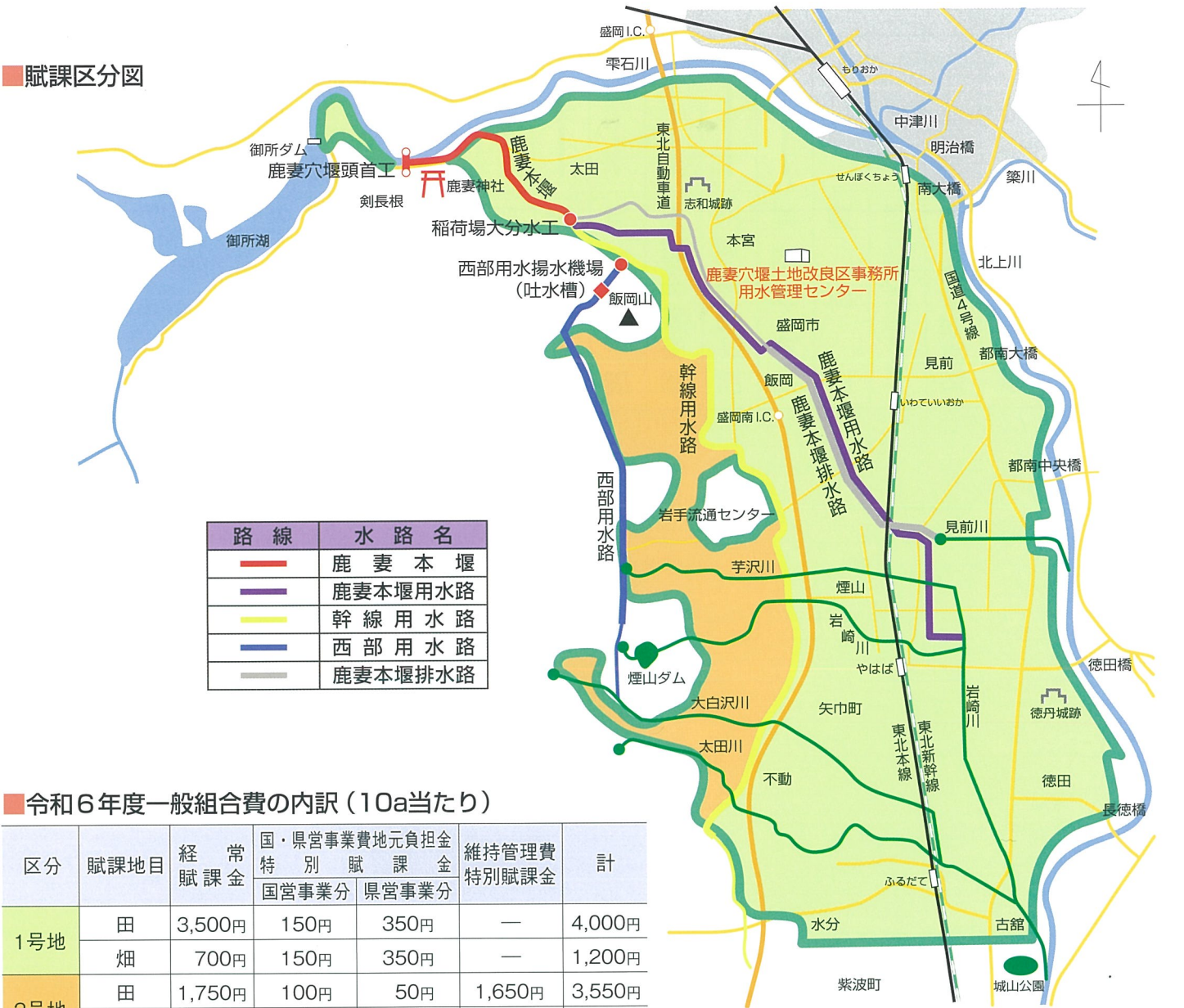


西部揚水機場



鹿妻本堰用水路・西部用水路

■ 賦課区分図



■ 令和6年度一般組合費の内訳（10a当たり）

区分	賦課地目	経常賦課金	国・県営事業費地元負担金 特別賦課金 国営事業分	国・県営事業費地元負担金 特別賦課金 県営事業分	維持管理費 特別賦課金	計
1号地	田	3,500円	150円	350円	—	4,000円
	畑	700円	150円	350円	—	1,200円
2号地	田	1,750円	100円	50円	1,650円	3,550円
	畑	350円	100円	50円	750円	1,250円
3号地	畑	350円	100円	50円	850円	1,350円

凡 例	賦課区分	地 域
	1号地	・ 国営雫石川地区（2号地を除く）及び国営盛岡南部地区（西部用水路掛りを除く）の受益地 ・ 大欠堰からかんがいている土地
	2号地	西部用水路、煙山ダムからかんがいている土地及び大木清水混用の土地
	3号地	畑地かんがいの土地

■ 組合員数および地積

（令和6年4月1日現在）

地 区 名	組合員数	地 積		
		田	畑	計
太 田	809名	6,467,174㎡	55,872㎡	6,523,046㎡
本 宮	182名	1,221,023㎡	—	1,221,023㎡
飯 岡	863名	6,620,432㎡	1,424,164㎡	8,044,596㎡
見 前	374名	2,335,266㎡	—	2,335,266㎡
煙 山	727名	9,253,356㎡	646,825㎡	9,900,181㎡
不 動	458名	6,818,243㎡	211,064㎡	7,029,307㎡
徳 田	654名	6,940,071㎡	—	6,940,071㎡
水 分	95名	1,497,457㎡	17,221㎡	1,514,678㎡
古 館	177名	1,414,334㎡	—	1,414,334㎡
計	4,339名	42,567,356㎡	2,355,146㎡	44,922,502㎡



矢巾町秋まつり



植樹体験学習会



枝打体験学習会



当区の啓発活動



頭首工見学



出前授業



矢巾町秋まつり



水土里ネット鹿妻

編集・発行

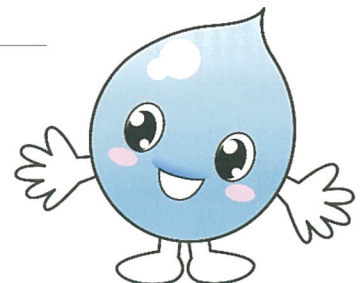
鹿妻穴堰土地改良区

〒020-0857

岩手県盛岡市北飯岡一丁目8番3号

TEL 019-656-4488 FAX 019-635-4664

<https://kaduma.jp/>



タマちゃん